

製品名: AMPD3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06836**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	AMPD3
別名	AMPD3; AMP deaminase 3; AMP deaminase isoform E; Erythrocyte AMP deaminase
遺伝子 ID	272.0
SwissProt ID	Q01432
免疫原	AMPD3 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 280-360

背景

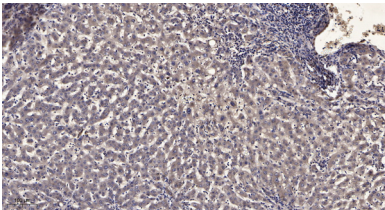
この遺伝子は AMP デアミナーゼ遺伝子ファミリーのメンバーをコードします。コードされるタンパク質は高度に制御された酵素であり、アデノシンリン酸からイノシンリン酸への加水分解的脱アミノ化を触媒します。これはアデニル酸分解経路の分岐点です。

この遺伝子は赤血球 (E) アイソフォームをコードしますが、他のファミリーメンバーは筋細胞 (M) と肝細胞 (L) に多く含まれるアイソフォームをコードします。この遺伝子の変異は、臨床的に無症状の常染色体劣性疾患である赤血球 AMP デアミナーゼ欠損症を引き起こします。この遺伝子の異なるアイソフォームをコードする、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: $AMP + H(2)O = IMP + NH(3)$.,疾患: AMPD3 の欠陥は、アデノシン-リン酸デアミナーゼ欠損赤血球型 (AMPDDE) [MIM: 102772]の原因です。AMPDDE は、AMP デアミナーゼの赤血球アイソフォームの活性の欠如による代謝障害です。これは、罹患細胞中の ATP の定常状態レベルが 50%増加することを特徴とする、臨床的に無症状の疾患です。赤血球 AMP デアミナーゼが完全に欠損している人は健康であり、血液疾患はありません。機能: AMP デアミナーゼは、エネルギー代謝において重要な役割を果たしています。経路: プリン代謝; サルベージ経路による IMP 生合成; AMP からの IMP: ステップ 1/1。類似性:アデノシンおよび AMP デアミナーゼ ファミリーに属します。サブユニット:ホモテトラマー。組織特異性:哺乳類には 3 つのアイソフォームが存在します。AMP デアミナーゼ 1 は骨格筋で優勢な形態です。AMP デアミナーゼ 2 は平滑筋、非筋肉組織、胎児の筋肉、および未分化筋芽細胞で優勢です。AMP デアミナーゼ 3 は赤血球で見つかります。 ,

研究分野

プリン代謝;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。